

地域密着型金融推進計画の取組み状況について

《平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月》



【目 次】

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	1
(1) 各種手法を活用した取引先企業の支援	
(2) 人材の育成・活用	
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底	3
(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない多様な手法を用いた融資の推進	
(2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底	
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	5
(1) 地域経済の活性化支援	
(2) 地域の活性化につながる多様なサービスの提供	
4. 主要な計数について	7
(1) ライフサイクルに応じた支援強化	
(2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底	

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

お客様のライフサイクルに応じたきめ細かい支援は、地域密着型金融の推進に不可欠な要素であることから、各種手法を駆使し、お客様の状況、ニーズに応じた経営支援を行うとともに、そのための人材育成に努めました。

(1) 各種手法を活用した取引先企業の支援

<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当行は、平成 17 年度より、お客様の「営業利益改善支援活動※」に取り組んでいます。 ※ 営業利益改善支援活動：地域金融機関として単なる資金仲介に留まることなく、地域のお客様の営業利益を増加させるべく、経営コンサルティング、営業支援等のソリューションを提供することで、お客様の満足・信頼を得て、取引拡大を図るビジネスモデル。 ・平成 21 年度は、「営業利益改善支援活動＝リレーションシップバンキング」であるとの考え方を再認識し、お客様の企業価値につながり、お客様満足度を高められる活動の強化を目指しました。 ・具体的には、営業支援部が営業店をサポートしながら、対象企業の経営課題の抽出、改善方法の検討、提案の実施、改善策の実行まで行うことにより、「営業利益改善支援活動」の実効性の向上を図りました。
<p>取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「営業利益改善支援活動」の実績は以下のとおりです。 平成 21 年度 取組先数 目標 1,000 先 実績 1,525 先 ポイント 目標 1,956 ポイント 実績 2,417 ポイント ※ 営業利益改善支援活動の取組内容をポイント化(売上販売先の紹介 2 ポイント、売上原価・販売管理費の削減 2 ポイント、キャッシュフローの改善 2 ポイント等)し、実績管理を行いました。 ・営業支援部によるソリューション提案・案件構築サポート件数は以下のとおりです。 平成 21 年度 サポート件数 176 件 実行金額 234 億円 (内訳) 企業取引推進グループ～77 件 91 億円 アグリクラスター推進室～38 件 56 億円 医業推進室～61 件 87 億円

(2) 人材の育成・活用

取組内容	<ul style="list-style-type: none">・お客様との更なるリレーション強化を図るためには、その業界動向に精通し、企業特性に応じた提案や融資推進を図ることができる高いスキルを持った人材の育成が必要です。・このため平成 21 年度は、本部担当部署による営業店の指導、集合研修等により行員の「目利き力」向上に取り組みました。
取組結果	<ul style="list-style-type: none">・審査部による営業店の臨店指導は以下のとおりです。 平成 21 年度 企業審査勉強会実施 37 カ店 自己査定検証指導実施 26 カ店・融資トレーニー※を以下のとおり実施しました。 1 か月コース・・・ 16 名受講 長期コース（6 か月）・・・ 3 名受講 ※ 融資トレーニー制度：営業店の行員が一定期間審査部で実習を受ける制度・融資企画部による営業店の臨店指導は以下のとおりです。 平成 21 年度 営業事務勉強会実施 23 カ店・営業店担当者の経験に応じた集合研修を以下のとおり実施しました。 平成 21 年度 44 回

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

不動産担保・個人保証に過度に依存することなく、地域における情報を活用し、多様な手法を用いて中小企業への融資を推進しました。また、そのために、行員の目利き力の向上を図りました。

(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない多様な手法を用いた融資の推進

<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の資金ニーズへ柔軟な対応が可能となることから、債権・動産担保を活用した融資手法の推進を図りました。 ・営業支援部の担当者が営業店の行員と帯同訪問を行い、融資案件の構築指導や相談対応を行う等、営業推進OJTを実施しました。 ・業種別の勉強会を開催し、行員の目利き力向上を図りました。 								
<p>取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・動産・債権譲渡担保融資の実績は以下のとおりです。 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">平成 21 年度</td> <td style="padding-right: 10px;">動産担保融資</td> <td style="padding-right: 20px;">実行件数 45 件</td> <td>実行金額 40 億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>売掛債権担保融資</td> <td>実行件数 22 件</td> <td>実行金額 6 億円</td> </tr> </table> ・営業支援部による帯同訪問・業種別勉強会等の実績は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <アグリクラスター推進室> 平成 21 年度 帯同訪問件数 318 先 セミナー開催(集合研修) 2 回 <医業推進室> 平成 21 年度 帯同訪問件数 858 先 セミナー開催(集合研修) 1 回 店別勉強会実施 31 ヲ店 医業トレーニー[※]の受入 7 名 <p>※ 医業トレーニー制度：営業店の行員が一定期間(6 週間)営業支援部医業推進室で実習を受ける制度</p>	平成 21 年度	動産担保融資	実行件数 45 件	実行金額 40 億円		売掛債権担保融資	実行件数 22 件	実行金額 6 億円
平成 21 年度	動産担保融資	実行件数 45 件	実行金額 40 億円						
	売掛債権担保融資	実行件数 22 件	実行金額 6 億円						

(2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底

<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 17 年 5 月に稼働した「マス審査層与信判断モデル[※]」を活用することにより、担保・保証に過度に依存しない融資の推進を継続・強化するとともに、迅速な資金供給を図り、お客様の満足度向上に取り組みました。 <ul style="list-style-type: none"> ※ マス審査層与信判断モデル：マス審査層（年商、借入額等一定基準に合致するお取引先）に対する当行独自の与信判断モデル。数値化された融資方針等に基づく効率的な融資を推進。 ・平成 20 年 3 月、法人向けのダイレクトチャネル「法人ビジネスセンター」を開設、同センターを活用した中小規模のお客様に対する営業推進を開始しました。また、営業店が地域密着型金融に注力できる時間を創出するため、平成 20 年度より同センターへ営業事務（財務分析等）の集中化を開始、平成 21 年度には対象先を拡大し、更なる集中化を進めました。（第 3 次移行） ・法人ビジネスセンターを活用した短期集中型研修の実施により、若年営業行員の早期育成を図りました。
<p>取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人ビジネスセンターの融資実績は以下のとおりです。 平成 21 年度 実行件数 1,249 件 実行金額 57 億円 ・法人ビジネスセンターへの事務集中化の状況は以下のとおりです。 平成 22 年 3 月末現在 法人ビジネスセンター集中化率[※]：55.0% <ul style="list-style-type: none"> ※ 集中化対象取引先のうち、法人ビジネスセンターが管理する割合 ・法人ビジネスセンタートレーニー[※]を以下のとおり実施しました。 平成 21 年度 40 名 <ul style="list-style-type: none"> ※ 法人ビジネスセンタートレーニー制度：営業店の行員が一定期間(1 ヶ月間)ダイレクトバンキング部法人ビジネスセンターで実習を受ける制度

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域経済を活性化させるために、お客様に対する個別の取組みはもちろんのこと、地域全体への波及効果の高い、地域基幹産業への融資等を推進しました。

また、個人のお客様に対しても多様な金融サービスを提供することで、地域の活性化を目指しました。

(1) 地域経済の活性化支援

<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本県の基幹産業である農畜産関連産業を支援することは、地域経済全体の活性化につながると考えております。このため、当行は平成 15 年から「アグリクラスター構想[*]」を打ち出し、推進を図ってきました。 <ul style="list-style-type: none"> ※アグリクラスター構想：地域特性を活かした取組みとして、農業（川上）・食品加工業（川中）を中心とし、川下である流通業、観光業さらに関連産業まで含めた商流に係る産業群（アグリクラスター）の活性化、拡大を支援する取組み。 ・ 平成 21 年度のアグリクラスター関連の取組みは以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ABL 等を活用した畜産向け貸出の増強を行いました。 ・ 南九州の農業、食料を中心とした産業振興を行い、地域経済を活性化するために、地元 6 金融機関で「鹿児島アグリ&フード金融協議会」を設立し、今後の連携・協力に関する協定を締結しました。（21 年 10 月） ・ 国内での販売拡大はもとより、アジアに近い当県の地理的優位性を生かすために、鹿児島県産品の海外輸出に向けた取組みを行いました。
<p>取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「鹿児島アグリ&フード金融協議会」による国内商談会を以下のとおり実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 21 年 10 月、「南の逸品商談会」 参加企業数 73 社 ・ 平成 22 年 3 月、「新幹線直通ルート商談会」 参加企業数 95 社 ・ 海外向けの商談会、物産展を以下のとおり実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 上海、台湾、香港、シンガポール向けに 8 回開催、参加企業数合計 162 社 ・ このような取組みにより、アグリクラスター関連業種[*]向け貸出金残高を以下のとおり増加させることができました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 22 年 3 月末残高：689 億円（対前年比+36 億円） ※ アグリクラスター関連業種：畜産業、養鶏業、製茶業、肉製品製造業、酒類製造業、その他農業

(2) 地域の活性化につながる多様なサービスの提供

取組内容	<ul style="list-style-type: none">・地域経済の活性化のためには、事業性貸出に留まらない多様な金融サービスの提供が必要であり、個人のお客様に対しても次のような取組みを行いました。<ul style="list-style-type: none">・平成 21 年 4 月、資産運用や個人ローン、公的年金等、お客様のライフプランに関する相談や情報発信を行う「個人プラザかぎん WELL」を開設しました。 (営業時間) 平日：午前 10 時～午後 6 時、土日祝日：午前 10 時～午後 5 時・お客様のニーズに対応する新たな金融サービスの提供・地域のお客様への金融情報の普及を目的とした個人向けセミナー等の開催
取組結果	<ul style="list-style-type: none">・医療保険、ガン保険の取扱い店舗を 13 ヶ店から全営業店に拡大しました。・環境保全に寄与するため、太陽光発電住宅ローン・太陽光発電リフォームローンの取扱いを開始しました。(金利優遇あり)・平成 20 年 4 月に取扱いを開始したインターネット投資信託の会員数は前年比 2,029 名増加の 3,807 名となりました。・「個人プラザかぎん WELL」でお客様向けセミナーを 131 回開催しました。(参加者数 1,369 名)・平日に来店できないお客様向けに、休日相談会を 8 回、休日セミナーを 11 回開催しました。

4. 主要な計数について

平成 21 年度における地域密着型金融に関する主要な計数は以下のとおりとなりました。

(1) ライフサイクルに応じた支援強化

① 経営改善支援の取組み実績

期初債務者数（正常先を除く） 【A】	Aのうち経営改善支援取組み先 【B】	Bのうち期末に債務者区分が ランクアップした先 【C】	Bのうち再生計画を策定した先 【D】
6,133 先	60 先	6 先	44 先

経営改善支援取組み率（B/A）	1.0%
ランクアップ率（C/B）	10.0%
再生計画策定率（D/B）	73.3%

② 創業・新事業支援融資実績

35 件 / 170 百万円

(2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底（個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資への取組みの計数）

動産・債権譲渡担保融資の実績	67 件 / 4,645 百万円
うち売掛債権担保融資	22 件 / 638 百万円
うち動産担保融資	45 件 / 4,007 百万円

以上